

# Interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌  
【インターフェイス】



2012.  
Spring

Vol.18



●創立30周年特集

御幸病院の30年のあゆみと、  
今後の目指すべき姿とは

- みゆきの里 創立30周年記念式典 開催
- 30周年を迎えて
- 和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定
- ニュースリリース ●担当医表

人々の暮らし、人々をつつら。



みゆきの里



医療法人 博光会 理事長

富島 三貴

Miki Tomishima

ごあいさつ

みゆきの里は、昭和57年3月1日に御幸病院開設以来、30周年を迎えることができました。これもひとえに、ご利用者の皆様とご家族、地域の皆様、連携先、お取引先の皆様方のご理解とご協力の賜です。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。

今回は、御幸病院とみゆきの里の30年を簡単に振り返りながら、今後の展望や新しい取り組みなどをお知らせしたいと思います。これを機にみゆきの里のCI(コーポレートアイデンティティ)を新しくするため、シンボルマークを変更いたしました。このインターフェイスも今号より、新しいマークを使用しております。

またこのインターフェイスも、以降、新しい姿を目指す御幸病院に合わせリニューアルを考えております。これまで以上に、地域の皆様、連携していただいている皆様と御幸病院とを結ぶ「絆」の一つとなれるようお送りさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

みゆきの里グループ

- ◆経費老人ホーム 富貴苑
- ◆レストラン ピオサルデー

- ◆ケアハウス ピオニーガーデン
- ◆特別養護老人ホーム みゆき園

- ◆ウェルネススクエア 和楽
- ◆小規模多機能ハウス ほがらか

- ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆グループホーム ほがらか

# 御幸病院の30年のあゆみと、 今後の目指すべき姿とは

## 皆様のおかげで30周年

御幸病院とみゆきの里は、平成24年3月1日で創立30周年を迎えました。みゆきの里の富島博会長が昭和57年、この御幸笛田の地に御幸病院を立ち上げて以降、御幸病院とみゆきの里は、常に変革と発展を続けて参りました(表1参照)。この30周年という節目の年を迎えられたのも、御幸病院を支えていただいた地域の皆様、患者様とご家族、連携先医療機関や施設の方々のお陰です。本当にありがとうございます。

御幸病院	みゆきの里
昭和57 御幸病院開設(72床)	昭和57 医療法人博光会設立
	昭和59 社会福祉法人健成会設立
昭和60 152床に増床	昭和60 富貴苑開設
昭和61 186床に増床	
	昭和63 みゆき園開設
	平成6 ぼたん園開設
	平成7 ピオニーガーデン開設
平成11 新館増築	
平成15 南館増築	平成15 ウェルネススクエア和楽開設
緩和ケア病棟開設(20床)	
総合リハ施設認可	
病院機能評価認定	
平成18 回復期リハ病棟開設(44床)	
	平成19 小規模多機能ハウスほがらか開設
平成21 回復期リハ病棟増床(85床)	平成21 グループホームほがらか開設

表1 御幸病院とみゆきの里のあゆみ

## これまでとこれからの御幸病院

72床でスタートした御幸病院も、現在では一般病棟・緩和ケア病棟・回復期リハ病棟・医療療養病棟の計186床を擁する中規模複合型病院となりました。この間、平成10年度の訪問看護ステーション「みゆきの里」の開設をはじめとして、訪問診療や訪問リハにも取り組み、在宅機能の強化を行ってきました。平成23年には市内中心部にも進出し、居宅介護支援事業所「駕町ケアガイドセンター」をオープンしています。

また、漢方・鍼灸といった東洋医学や、アロマセラピー・点滴療法など代替医療を、西洋医学と統合した「統合医



開設当初の御幸病院。当時、周囲は田んぼだらけでした。

療」の実践と研究も、御幸病院の大きな柱となりました。長尾名誉院長の鍼灸治療室での診療、外来での王研究員の漢方相談、江頭医師のもの忘れ外来、病棟でのアロマ・動物介在活動の導入等、すっかり御幸病院に定着しました。平成16年の南京中医薬大学、及び平成17年の台湾との交流など、東洋医学を通じた国際交流も進めています。

地域密着型の在宅部門の充実と、東洋医学も含めた代替医療を取り入れる統合医療の実践と研究は、富島会長の持論である「福祉の原点は在宅にあり」「患者に優しい医療」に立脚した、御幸病院の柱であると言えます。

そして御幸病院は次の段階を見据え、準備を進めております。御幸病院をはじめとしたみゆきの里各施設では、平成23年度を「30周年を迎える準備の年」と位置づけ、今後10年の事業展開とその理想とする姿を模索する「レインボープロジェクト～未来・夢・絆～」を実施して参りました。このプロジェクト名は、みゆきの里の7つの施設を虹の七色に喩えたものです。

各施設の職員がプロジェクトメンバーと成り、約1年間をかけ、みゆきの里を取り巻く環境や未来予測などに関して調査を行い、今後のビジョンを策定して参りました。現在、検討がまだ続いておりますが、その課程の一部は纏め

人が人をおもう。人が人をつつむ。



図1  
みゆきの里の  
新しいマーク

られ、3月1日の創立30周年記念式典に於いて、中間報告として公開されました。

この発表に於いては、非常に多岐にわたる報告がなされました。一例を挙げますと、みゆきの里の新しいロゴマーク(図1)です。30周年の節目を迎え、新しい姿を目指すみゆきの里にふさわしく、ロゴマークやスローガンを一新いたしました。



創立記念式典での、レインボープロジェクトの中間発表の様子。



レインボープロジェクトの様子。  
いくつかのチームに分かれ、調査・立案・計画などを推進してきました。

御幸病院に於いては、今後の新しいビジョン(表2)をはじめとして、事業の重点項目となるべき懸案や、新しい施設の整備についての提案などが報告されました。このレインボープロジェクト自体は現在も進行中で、最終的な報告がなされるのは新年度に入ってからとなりそうです。

## 新しい目標を目指す御幸病院

御幸病院は30周年を迎え、新たに理想とする姿、目指す目標を再設定し、それに向かって走り出そうとしています。しかし、それはこれまでの30年間で培ってきたこと、大事にしてきたことを否定することではありません。地域密着・在宅重視・連携強化・統合医療といった今までの柱そのままに、より高い理想、より困難な目標を目指すというものです。

御幸病院についてお知らせしてきたこのインターフェイスも、新しい御幸病院にふさわしく、次号よりリニューアルいたします。装いを変えましても、御幸病院とインターフェイスにつきまして、変わらぬ御愛顧をいただけますよう、お願いいたします。

表2

### 御幸病院のビジョン (私たちが何をしようとしているのか)

統合医療・予防医学・リハビリテーションを強化し、患者様のニーズに沿った医療と在宅までのシームレスな連携を展開します。地域から愛され信頼され、職員は誇りと喜びをもって働ける病院となります。

## 統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問  
老人保健施設ほたん園施設長  
日本東洋医学会指導医・名誉会員

江頭 洋祐

### 花粉症(アレルギー性鼻炎)の統合医療

春(3-4-5月)は毎年花粉症の季節です。今や国民の2~3割の方が花粉症になっていると報告されています。原因は主にスギ花粉ですが、ヒノキやイネ科の花粉も関係します。花粉は風に乗って何十キロにも飛散して来ます。症状は、鼻水、くしゃみ、鼻づまりが3大症状で、7~8割の方に眼のかゆみやゴロゴロ感を伴っています。

治療としては、抗アレルギー薬の内服(アレグラ・アレロック・アレジオン・〜)に点鼻薬(ナゾネックス・〜)を併用します。眼の症状には洗眼後にザジテンやフルメトロンなどの点眼薬を用います。

また、重症のケースでは、ステロイドの合剤のセレスタミンを短期間使用します。

漢方では体質的に「水毒」のある方が多く、小青竜湯が最も有効ですが、鼻づまりには葛根湯加川芎辛夷や辛夷清肺湯も使用します。鼻の症状がなぜをきっかけに始まる時には、PL顆粒も少し併用すると眠気を伴いますが有効です。

予防としては、花粉の付着を防ぐマスクやメガネ(ゴーグル)を用いること。帰宅時は着衣に付いた花粉を振り払っておくこと。できれば水道水で鼻孔と眼を軽く洗い流しておくのが予防に役立ちます。

根治療法としては、スギ花粉エキスを微量から段階的に量を増やして皮下に注射する減感作療法があり、確かに有効ですが、手間と時間が掛かりますので、最近では舌下免疫療法が開発されています。また、耳鼻科でレーザーを用いて鼻粘膜を焼灼する方法が1~2年間は有効と言われています。

# みゆきの里 創立30周年記念式典 開催



3月1日、みゆきの里の30周年創立記念式典が、ぼたん園多目的ホールにて開催されました。当日は始業前の朝早くから、富島会長をはじめ職員一同がぼたん園に集合。富島会長及び富島理事長より開会の挨拶が行われた後、30周年を節目として、みゆきの里が今後10年の間に目指すべき目標を策定した、「レインボープロジェクト〜未来・夢・絆〜」についての発表が行われました。

このプロジェクトはみゆきの里の各職員がおよそ1年間にわたって、みゆきの里と各施設の今後10年のグランドデザインを描くため、取り組んできたものです。当日はプロジェクトメンバーを代表して、各々の成果を纏める統合

チームのメンバーより、各施設の今後10年間の事業計画等が発表され、また富島理事長からは、みゆきの里の新しいロゴ及びマークがお披露目されました。

続けて、長きに渡って勤務を続けてこられた永年勤続者の方々と、先日の研究発表大会優秀作の表彰が行われました。今回の永年勤続者は、勤続10年が14名、15年が9名、20年が6名、25年が3名、30年が6名の、計38名が受賞。受賞者を代表して、15年勤続の訪問看護ステーションみゆきの里・上野所長が謝辞を述べました。

研究発表では、みゆき園施設部・平川介護福祉士発表の「『要介護5=寝たきり!?』からの脱却〜意識とやる気が変わった瞬間〜」が最優秀賞となり、平川介護福祉士は昨年に続いて、5回目となった研究発表大会で初の連続



受賞を達成いたしました。

表彰がひとしきり終わりますと、最後には吉田院長の音頭で職員全員がお茶で乾杯し、記念式典は閉会となりました。

御幸病院の設立と共に始まったみゆきの里が、今回30周年という節目の年を迎えることができたのも、ご利用者やそのご家族、地域の方々、連携先の医療機関や施設の皆様方のご理解とご協力あってのことです。みゆきの里はレインボープロジェクトで策定しました、10年先の理想の姿を実現することを目指して、今後とも皆様に貢献できる地域の拠点、健康長寿のまちづくりに取り組んでまいります。



## 30周年を迎えて

昭和57年3月1日に御幸病院が開設されてから、今年で30周年を迎えました。創立時はベッド数72床、診療科目が3つ、スタッフも30人ほどの病院でしたが、現在では186床、11診療科目、スタッフ数約260人と、大きく成長して参りました。

私は御幸病院の開設時から、非常勤医師としてお世話になっておりましたが、平成3年に常勤医師となり、4年には院長の重責を引き受けることになりました。以来約20年、思い返せばあっという間だったように思います。

その間、御幸病院は平成12年の介護保険導入を契機に、平成11年には新館を増築。当時の老人病棟140床のうち96床を療養型病床群へと転換しました。平成15年は、一般病床46床のうち20床を緩和ケア病棟へと転換、新たに南館を増設し、総合リハビリテーション施設の承認、病院機能評価の認定を受けるなど、めまぐるしい1年でした。平成19年・21年にはそれぞれ、療養型病棟を回復期リハビリテーション病棟へ転換し、現在は回復期リハ病棟85床・2病棟体制となっています。

御幸病院は開設当初の療養中心の病院から、回復期リハビリの比重が高い病院へと変遷してきましたが、変化した点はそれだけにとどまりません。長尾名誉院長の鍼灸治療室を中心に、外

## 御幸病院 院長 吉田 健



来での点滴療法、アロマセラピーなど、統合医療の研究と推進や、「食」についての取り組み、病診連携・病病連携の強化などについては、過去このインターフェイスで度々ご紹介して参りました通りです。

しかしながら、変わらない点もあります。御幸病院の初代名誉院長・東陽一先生がおっしゃった言葉に「患者さんに親切であれ」とあるように、患者様とご家族、ご利用者・ご来院者の皆様に親身になって接する病院であろうとすること。みゆきの里の富島会長が、病院名に「御幸」の名前を頂いたように、地域に貢献する病院であろうとすること。これらは設立当初から、御幸病院が変わらず追求している理念です。

30周年を機に、御幸病院も次の10年を見据えて、新たな事業計画を色々として策定しております。主なものとしては電子カルテの導入や病棟の再編成、在宅機能の更なる強化などが挙げられますが、変化する社会情勢と、患者様・ご家族のニーズの双方に応えられるよう、これからも精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

# 特集 和楽WARAKUって こんなところ!

ウェルネス  
スクエア

Vol.18



## 季節の野菜で健康スイーツづくり ～幸田公民館で料理教室開催～



2月18日、熊本市幸田公民館にて、地域の方々を対象とした料理教室が開催され、ウェルネススクエア和楽・田園キッチンの東島料理長が講師役を務めました。この教室は幸田公民館が主催、

田園キッチンが協力を行っており、今回が通算6回目の開催となります。

最初に東島料理長がスライドを使用し、「食材と健康の関わり」という講義を実施。続いて、野菜を使ったケーキと白玉団子作りの調理実習が行われました。卵・白砂糖・牛乳を使わず、人参をベースにしたパウンドケーキと、レンコンを使用した白玉団子は、健康にも配慮した体に優しい手作りスイーツです。出来上がった料理は、実習の最後に参加者の皆さんが美味しくお召し上がりになりました。

今回の教室で紹介した「人参とレーズンのパウンドケーキ」と「蓮根入り白玉団子」は、レシピを掲載しておりますので、読者の皆様も是非ご家庭でお試し下さい。



### 田園キッチンの料理教室

#### “人参とレーズンのパウンドケーキ”

材料	レシピ
●A 薄力粉 …………… 80g ベーキングパウダー … 10g	1.人参をみじん切りにする。 2.Aをふるいにかける。 3.Bを乳化するまで混ぜる。
●B メープルシロップ …… 45cc 豆乳 …………… 50cc オイル …………… 20cc シナモン …………… 少々	4.AとBを混ぜる。 5.人参とレーズンを混ぜる。 6.5をパウンド型に流し込む。 7.170°Cのオーブンに入れる。
●人参 …………… 50g ●レーズン …………… 40g	8.焼き時間15分程度、串を刺して火の通り具合を確認する。 9.オーブンから出して冷ます。

事前にオーブンを温めておく。(170°C)



#### “蓮根入り白玉団子”

材料	レシピ
●団子 蓮根(すり下ろし) … 65g 白玉粉 …………… 80g メープルシロップ … 30g 塩 …………… ひとつまみ	1.団子の材料をよく混ぜる。 2.1をこねる。 3.16個に取り分け丸める。 4.お湯に入れ浮いてきて膨らむまで茹でる。
●みたらしダレ 玄米水あめ …… 大さじ1 醤油 …………… 小さじ1/2 ●きな粉 …………… 適量	5.茹で上がった団子を冷水に入れ冷やす。 6.布などで余分な水分をとる。 7.みたらしダレを合わせる。

事前に団子を茹でるお湯を沸かしておく。

#### 次回の料理教室

●4月21日(土)

煎り玄米のリゾットと春野菜のスープ

講師:田園キッチン 東島料理長  
時間:午前10時～12時  
場所:熊本市南区幸田2丁目4-1 幸田市民センター内 幸田公民館

※お問い合わせ・お申し込みは、幸田公民館(電話:096-379-0211)まで



## ■ 今後の行事予定 Event schedule

6月上旬 健康と食のまつり



昨年健康と食のまつりの様子

## ■ 担当医表 Charge medicine table

		月	火	水	木	金	土
第1診察室	午前		江頭				
	午後					江頭	
第2診察室	午前	津出	吉田	山浦	川野	吉田	担当医
	午後	高木	本田	高野	高野 金場★	津出	
第3診察室	午前						
	午後			和田山			
鍼灸治療室	午前	長尾			長尾		
	午後		長尾		長尾		
歯科室	午前	田川	田川	田川	田川	田川	田川
	午後	田川	田川	田川	田川	田川	

●王研究員の漢方相談…毎週水曜日の午前・午後、毎週木曜日の午後

吉田院長・津出診療部長・川野内科医長	内科を中心として、 種々の診療を担当します。
本田医師・高野医師・高木医師・山浦医師	緩和ケア病棟を担当します。
磯貝ホスピス医長・鈴木医師	緩和ケア病棟を担当します。
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・ 心療内科を担当します。
和田山医師	整形外科を担当します。
田川歯科医師	歯科を担当します。要予約です。

●リハビリテーションの担当医/川野、吉田、津出、高木  
●緩和ケア入院相談/月～土 8:30～17:30(随時)  
相談窓口/医療連携室

## ■ ニュースリリース News release

### 長尾名誉院長、広西医学院の客員教授に

御幸病院の長尾和治名誉院長が、中国・広西チワン族自治区(広西省)の広西中医学院(4月より広西中医薬大学)より客員教授として招かれ、2月26日受任式が行われました。

これは、自治区を統括される教育庁の高楓教育庁長(日本の文部科学大臣相当)が、以前に長尾名誉院長が勤務されていた熊本市民病院に1年間私費留学された際の恩義が忘れられず、10数年来招聘を切望されておられたところ、今年実現したものです。

この受任式に先立ち、長尾名誉院長より「日本での漢方薬の使用および使用経験」という演題で、学究講演が行われました。

広西チワン族自治区は熊本県と姉妹(友好交流)地域であり、桂林市は熊本市と、海岸部の北海市は八代市と、それぞれ友好姉妹都市です。長尾名誉院長も、当地で大変な歓迎を受けました。今後情報を交換し、診療に役立てたいとのことでした。



客員教授の辞令交付式



講演の様子



長尾名誉院長と、同時に広西医科大学の客員教授として招聘された、高野病院会長・高野正博先生(右)

私たちは、地域の人々、利用者をご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

みゆきの里

#### 【診療科目】

内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・漢方内科・リハビリテーション科・心療内科・アレルギー疾患内科・小児科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師: 岡崎止雄]

#### 【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時  
土曜 午前8時30分～午後12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟: 20床
- 一般病棟: 30床
- 回復期リハビリテーション病棟: 85床
- 医療療養型病棟: 51床
- 併設: 訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院  
〒861-4172 熊本市御幸笛田6-7-40  
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762  
メールアドレスInfo@miyukinosato.or.jp  
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>